



①

樹幹害虫ヒメボクトウの防除に 果樹の交信かく乱剤 ボクトウコン[®]-H

農薬種類名(一般名): コッシンルア剤
農林水産省登録: 第23633号

ボクトウコン[®]は信越化学工業(株)の登録商標です。

交信かく乱用性フェロモン剤の
詳しい説明はWEBで→



性フェロモンで対象害虫の
交尾を阻害することで発生を抑制

有機JASに使用できます

ヒメボクトウの生態

●幼虫は2年以上(寒冷地では3年以上)集団で樹幹を加害します。



②ヒメボクトウの成虫



③リンゴ枝幹内部を食害する老熟幼虫



④被害を受けたリンゴ樹



⑤被害を受けたリンゴ樹



⑥被害を受けたナシ樹



⑦穿孔食害を受けたナシの主枝の断面

写真提供: ①②③④⑤⑥…福島県農業総合センター果樹研究所、⑦…徳島県立農林水産総合技術支援センター

交信かく乱性フェロモン剤 ボクトウコン[®]-H

●有効成分：

(E)-3-テトラデセニル=アセタート …… 74.1%
安定剤等 …… 25.9%

●安全性

人畜毒性：普通物（毒劇物に該当しないものを指している通称）

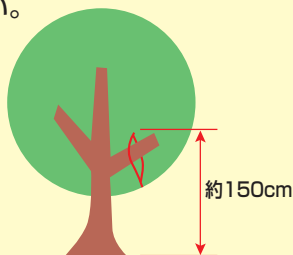
魚毒性：この登録に係る使用方法では該当がない

●包装形態：100本／袋、60袋／箱

上手な使い方

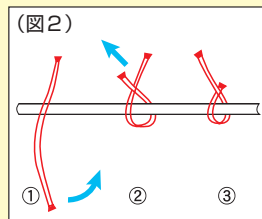
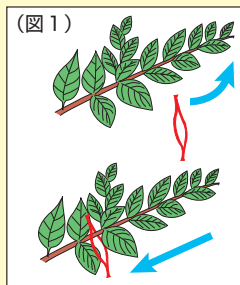
1. 処理量と処理位置

10アールあたり100本を設置します。目通りの高さに、なるべく圃場全体に均等になるように取り付けてください。



2. 取り付け方法

細い枝では輪にして、輪の中を通すか（図1）、少し太い枝ではそのまま巻きつけてから、一端を輪の中にくぐらせて固定してください（図2）。（強く引っ張って固定すると、端が切れる恐れがありますので注意してください。）



3. 処理期間

ヒメボクトウの幼虫は数年かけて成虫になります。樹幹に残る幼虫を防除するために、少なくとも3年以上連続して使用するようにしてください。

ボクトウコン-Hの登録内容

作物名	使用目的	適用病害虫名	使用量	使用時期	使用方法
果樹類	交尾阻害	ヒメボクトウ	100本～150本／10a (16g／100本製剤)	成虫の発生初期から終期	ディスペンサーを対象作物の枝に挟み込み、または巻き付け設置する。

ボクトウコン-Hの特長

- 性フェロモン剤の有効成分は微生物等により容易に分解されるため、環境にやさしい防除剤です。
- 性フェロモン剤は、殺虫剤と比べても一般的に抵抗性がつきにくいとされています。
- 作物への残留も心配なく、輸出用作物にも使用できます。

使用上の注意事項

- ・本剤はヒメボクトウ成虫の交尾を連続的に阻害して交尾率を低下させることによる密度低下を目的としていますので、成虫の発生初期から連続的に、広範囲な地域で使うことが望ましいです。
- ・対象害虫が高密度に存在する場合には状況に応じて天敵に影響の少ない殺虫剤を併用することが望ましいです。
- ・本剤は、樹木等に巻き付け、対象地帯に均一になるように設置してください。また、立地条件や風向、傾斜等により効果が振れる場合がありますので、諸条件から判断して、必要な場合は使用量の範囲内で、特に周辺部に多めに設置することが望ましいです。
- ・急傾斜地、風の強い地帯等本剤の濃度を維持するのが困難な地域では使用しないでください。
- ・外装のアルミ箔袋を開封したまま放置すると有効成分が揮散しますので、必ず使用直前に開封し、使い切ってください。
- ・本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法等誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

安全使用上の注意事項

- ・本剤は皮膚に対して刺激性がありますので、使用の際は手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用して薬剤が皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落してください。
- ・危険物第四類第三石油類に属するので火気には十分注意してください。

貯蔵上の注意事項

- ・火気をさけ、直射日光が当たらない冷暗所（5℃以下）に密封して保管してください。

○使用前にはラベルをよく読んでください。○ラベルの記載以外には使用しないでください。○本剤は小児の手の届く所には置かないでください。

本資料は2021年9月現在の知見に基づいて作成されています。